

令和元年度アドバイザー会議のふりかえり

令和元年度はアドバイザー会議を2回開催する予定だったが、コロナ禍のため、第2回目は開催することができなかった。以下に令和元年度第1回アドバイザー会議の概要を示す。

第1回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザー会議

日時： 令和元年8月30日（金） 13時00分 ～ 17時15分

会場： 福岡市役所本庁9階 第2特別会議室

参加者： [アドバイザー] 5名

- ・桑江 朝比呂 （港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長）
- ・岡田 知也 （国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室長）
- ・服部 卓郎 （NPO 法人 ふくおか湿地保全研究会 理事長）
- ・中島 淳 （福岡県 保健環境研究所 研究員）
- ・林 博徳 （九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 助教） 欠席

[事務局] 8名

- ・福岡市港湾空港局アイランドシティ事業部 （白土課長、小山係長、清水、湖城）
- ・一般財団法人九州環境管理協会 （宇野、山本、岡部、宇佐美）

議事次第

- (1) アイランドシティ整備事業について
- (2) これまでに決定された上位プラン
- (3) アイランドシティはばたき公園における取組み
- (4) アドバイザー会議の役割

————— 現地視察 —————

- (5) 湿地の順応的管理計画の検討
 - 1) 包括的目標の設定
 - 2) 具体的な行動計画・事業実施方針
 - a 場の再生に向けた行動計画・事業実施方針
 - b 包括的目標を達成するための具体的な計画・方針

主な意見

- ・今後湿地を管理する計画については市民の意見を取り入れながら共働することが重要。
- ・渡り鳥の休息場としての保全とともに、多くの生物が生息する場を目指すことも環境学習などにおいてとても重要。
- ・植生の遷移をコントロールし、適正な生息環境の維持が重要。